

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第39週 (ARIのみ第38週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (39 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。
 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
 4 類感染症：デング熱 1 例、レプトスピラ症 1 例。
 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	50歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT2)
4類	デング熱	宮崎市	20歳代	男	デング熱	発熱、2日以上続く発熱、頭痛、全身の筋肉痛、 骨関節痛、発疹、血小板・白血球減少、 血清蛋白の低下、国外からの入国者
	レプトスピラ症	宮崎市	5～9歳	女	—	発熱、結膜充血、その他
5類	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	90歳代	男	—	ショック、腎不全、軟部組織炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 250 人(定点当たり 16.1)で、前週比 99%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎、突発性発しん及びヘルパンギーナであった。

また、第 38 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,155 人(定点当たり 41.3)で、前週比 101%とほぼ横ばいであった。

【インフルエンザ】

報告数は 85 人(3.0)で、前週比 425%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.30)の約 10.1 倍であった。年齢群別は 20 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

【RSウイルス感染症】

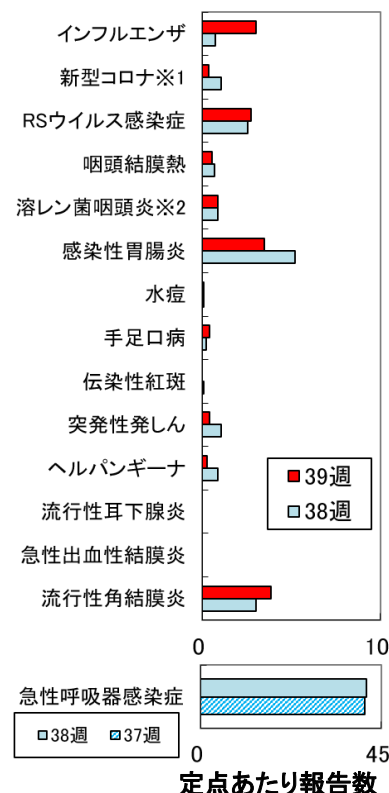
報告数は 41 人(2.7)で、前週比 108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.6)の約 0.8 倍であった。年齢群別は 1 歳が全体の約半数を占めた。

【流行性角結膜炎】

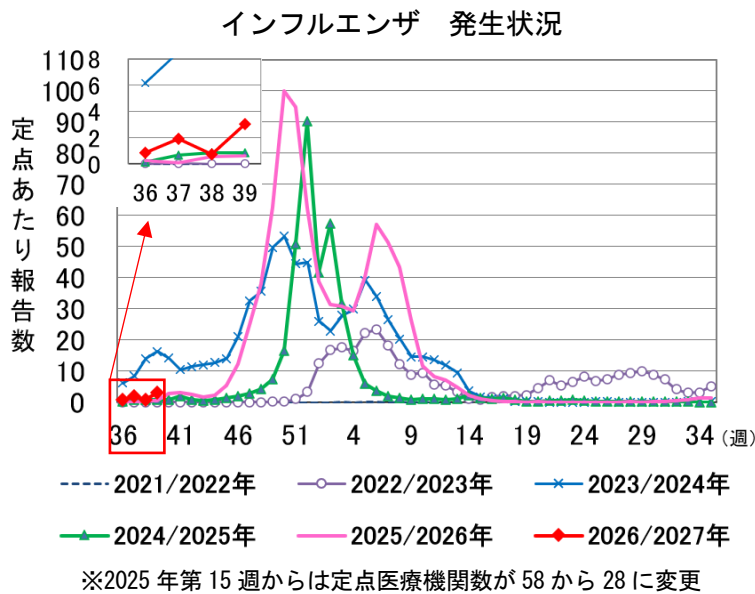
報告数は 23 人(3.8)で、前週比 128%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.6)の約 1.1 倍であった。年齢群別は 20 歳代から 30 歳代が全体の約 4 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

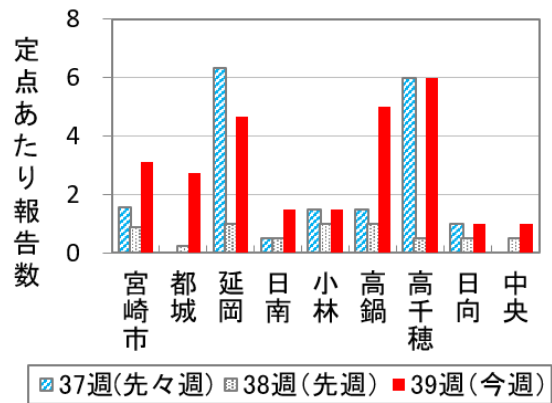
《前週との比較》



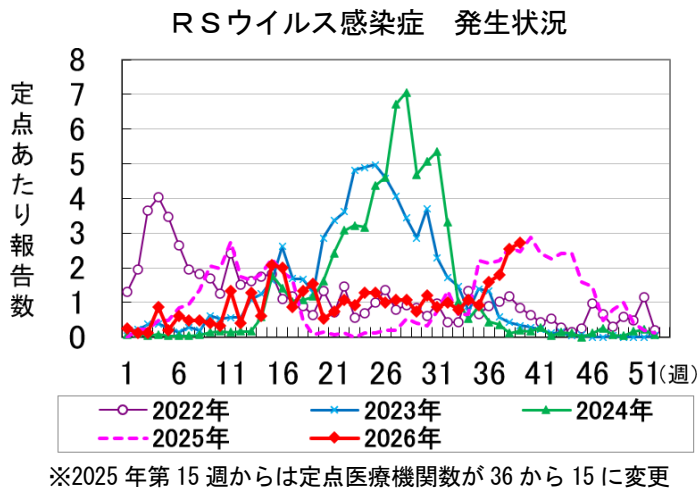
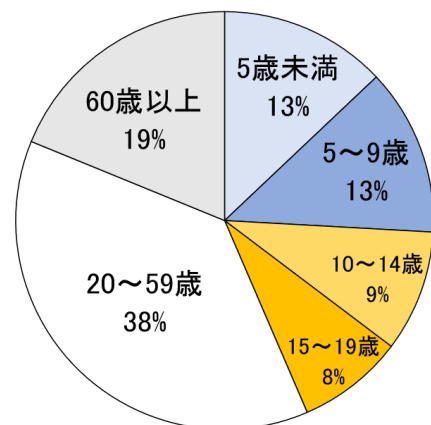
※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



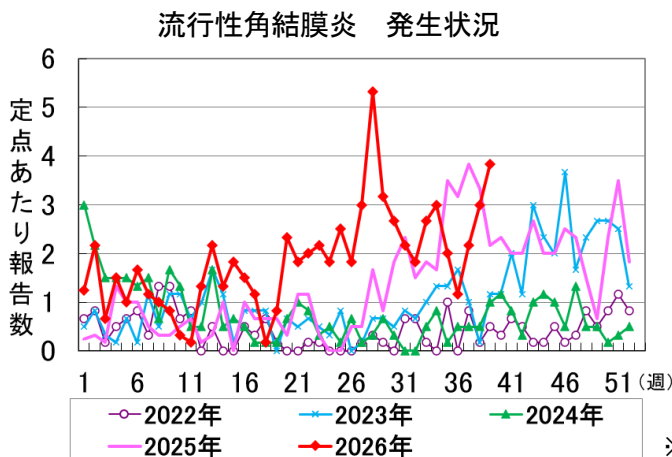
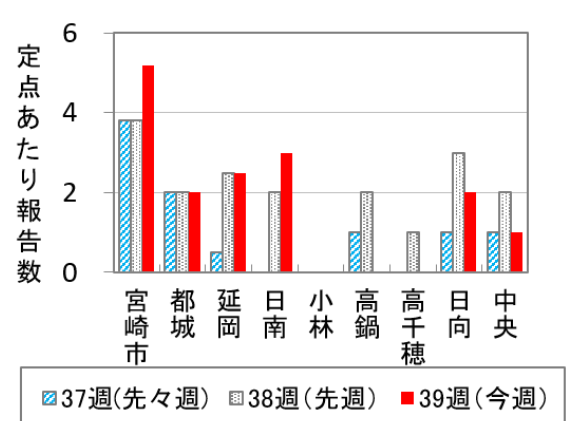
インフルエンザ 保健所別推移(3 週分)



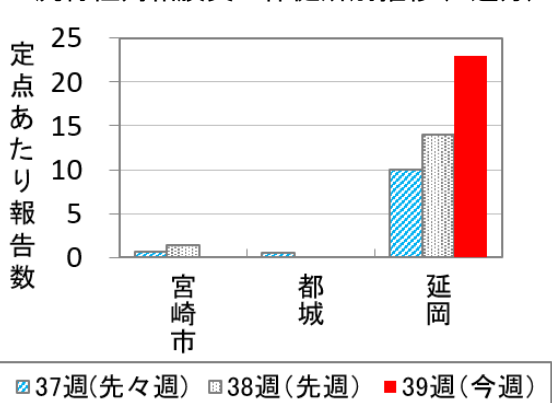
インフルエンザ 年齢群別グラフ(第 39 週)



RSウイルス感染症 保健所別推移(3 週分)



流行性角結膜炎 保健所別推移(3 週分)



※眼科定点医療機関は宮崎市、都城、延岡保健所管内のみです

★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.14)で、延岡保健所から報告があった。年齢は5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性角結膜炎(23.0)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

・流行性角結膜炎(8)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection：ARI)

(第37週：9月7日～9月13日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	3
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			0
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			2
アデノウイルス			0
検出せず※2			9
受付検体数			15

○ 急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては2026年9月28日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	0～4歳	男	2026.09.09	発熱、腹痛、下痢、血便	便	2026.09.16

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
SARS-CoV-2	0～4歳	女	2026.08.04	感染性胃腸炎、下痢	便	2026.09.18

🌸 全国 2026 年第 38 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	261 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	147 例		
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	15 例	エムボックス	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例	デング熱	9 例	日本紅斑熱	30 例
	レジオネラ症	86 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	21 例
	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例	水痘（入院例）	8 例
	多剤耐性緑膿菌感染症	6 例	梅毒	146 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	2 例	百日咳	91 例	麻疹	15 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 119%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は手足口病であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 119%と増加した。

インフルエンザの報告数は 31,428 人(8.5)で前週比 153%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.32)の約 26.2 倍であった。沖縄県(26.3)、東京都(15.2)、愛知県(15.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 9,826 人(2.7)で前週比 109%と増加した。埼玉県(5.9)、長野県(5.6)、栃木県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 2,923 人(1.3)で前週比 130%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.90)の約 1.4 倍であった。群馬県(6.2)、静岡県(3.1)、神奈川県(2.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の
当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

疾病名		第38週	第39週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	20	85	28	11	14	3	3	10	12	2	2
	定点当り	0.71	3.04	3.11	2.75	4.67	1.50	1.50	5.00	6.00	1.00	1.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	30	10	3		1	1	1	1	2		1
	定点当り	1.07	0.36	0.33	0.00	0.33	0.50	0.50	0.50	1.00	0.00	0.50
RSウイルス感染症	報告数	38	41	26	4	5	3				2	1
	定点当り	2.53	2.73	5.20	2.00	2.50	3.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	10	8	7			1					
	定点当り	0.67	0.53	1.40	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	13	13	8	2	1	2					
	定点当り	0.87	0.87	1.60	1.00	0.50	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	78	52	17	7	1	5	7	4		9	2
	定点当り	5.20	3.47	3.40	3.50	0.50	5.00	7.00	4.00	0.00	9.00	2.00
水 痘	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.07	0.07	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	3	6			2				1		3
	定点当り	0.20	0.40	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	6	2		4						
	定点当り	1.07	0.40	0.40	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	13	4	1		3						
	定点当り	0.87	0.27	0.20	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	23			23						
	定点当り	3.00	3.83	0.00	0.00	23.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第38週(09月14日～09月20日)

		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1143	1155	311	132	145	101	99	65	65	149	88
	定点当り	40.82	41.25	34.56	33.00	48.33	50.50	49.50	32.50	32.50	74.50	44.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～39週 保健所受理分)

2類感染症	結 核	102例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	48例(1)				
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例	つつが虫病	4例
	デング熱	1例(1)	日本紅斑熱	10例	レジオネラ症	13例
	レプトスピラ症	1例(1)				
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例(1)	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例)	7例	多剤耐性緑膿菌感染症	2例
	梅 毒	50例(1)	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例
	百日咳	54例	麻疹	1例		

()内は今週届出分、再掲